

## 紺屋 2023 #306 「アート・ベース88」(仮称)プラン

オハツ企画 宮本初音

[miyamoto88@asahi.email.ne.jp](mailto:miyamoto88@asahi.email.ne.jp)

連絡先: ミュージアム・シティ・プロジェクト

ギャラリー・アトリエ 気付 092-282-0553 (phone/fax)

### ◎名称 <アート・ベース 88> (あーと ベース はち はち)

英字表記: ART BASE 88 (大文字)

ロゴデザイン: クルール(大村政之) ※予定

参考: アート・アパート88図案



### ○スペース設立趣旨:

アートハウスを造りたい、その第一歩として 2007 年春、冷泉荘に「アート・アパート88(aa88)」をスタート。第2段階としての「アート・ベース88(AB88)」(仮称)

※アートハウス: ギャラリー、ホール、スタジオ、オフィス、カフェ、レジデンスなどの機能が一体となった、アートコンプレックス[複合体]スペース

\* aa88 で構想していたアートを楽しむ、ゆりかご的空間から、実践の舞台へ進める。

\* アート「ハウス」の序章としての、アート「アパート」→基地としてのアート「ベース」

\* 88はオハツのハチ。末広がりの八。(aa88 と共通)

\* 蜂のハチ=ハチのように働く。女王蜂のように女性がプライドを持って。(aa88 と共通)

\* アジアとの親和性を示唆(aa88 と共通) 例: 88→韓国語のパルパル(1988 年=ソウルのオリンピック年)。はちはち→インドネシア語の hati-hati は「気をつけて」

### ◎「アート・ベース88」企画内容

#### (1) オープンオフィス・インフォメーション

オハツ企画の本拠地。フリーのキュレーター、コーディネーターが使えるオフィス空間。アート情報発信基地。運営メンバーの会員制度の検討。

#### (2) 展覧会・レクチャー・イベント スペース

AB88 にて小規模企画展。フリーキュレーターの企画、若手作家個展など。オハツ企画プロデュースの前提でゲストディレクター、アーティストらが使用する形。レクチャーシリーズを定期的に実施し、サロンの機能を強化。

※frat(仮称): 福岡におけるアーティストインレジデンスを考える会のミーティング等

#### (3) ショップ系イベント

美術作品販売、古本・古道具など。グッズの開発。物々交換企画等。バザールの定例化

#### (4) スタジオ機能

オハツ企画プロデュースの前提で、若手作家の制作現場などとして利用(案)

#### (5) レジデンス機能

紺屋 2023 内のレジデンスルームと連携。AB88 でもレジデンスが可能が検討

#### (6) 将来的な狙い: 出版(予定・冷泉荘期間を揺籃期として→紺屋 2023 で第2段階へ)

福岡のアートをメインに取り扱う出版業を構想。地元作家紹介パンフレット(和英)や、アートスクールのテキストブックなど。定期刊行物(マガジン、フライヤー系)

### ◎2008-09 年春までの 主要企画スケジュール案

※2008 年度中は冷泉荘 aa88 とギャラリー・アトリエと3本立てとなるためゆるめの日程

2008 年 4 月 内装工事開始

2008 年 6 月 プレオープン frat 立ち上げ会などを想定

2008 年夏 正式オープンプログラム 展覧会企画

2008 年秋・冬 個展シリーズ 1-2 週単位。5-6 回の開催を目安。

2009 年 3 月頃 冷泉荘 aa88 とギャラリー・アトリエの機能を統合させ グランドオープン

### ◎所在地、スペースの様子

「紺屋 2023」プロジェクト=ディレクター雑居ビル構想/2008-2023 年まで続くプロジェクト  
(プロデュース: トラベラーズプロジェクト)

所在地 福岡市中央区大名 1-14-28(第1松村ビル) #306

広さ 奥行き約 7メートル、幅約 5メートル 約 12 坪



内部の様子(2008/4/1 現在)



建物の外観(2008/3/31 撮影)



内装イメージ 白基調(画像は沖縄の飲食店)  
(内装は aa88 と同様に徳永昭夫が担当する予定)



※参考 アート・アパート88(冷泉荘A32)

本企画案は 2008.04.08 現在のものです。